「鉄道員（ぽっぽや）」の浅田次郎 原作

愛するもののため、
奇蹟を信じ男は走る――

based on a true story

天国までの百マイル

A HUNDRED MILES

時任三郎

大竹しのぶ

羽田美智子

村上淳

ブラザー・トム

ベンガル

小野寺昭

筧利夫

柄本明

八千草薫

製作総指揮◆中村雅哉
プロデュース◆奥山和由
製作◆早河洋/桜井五十男
原作◆浅田次郎
「天国までの百マイル」（朝日新聞社刊）
脚本◆田中陽造
監督◆早川喜貴
音楽◆藤井尚之
撮影◆田村正毅
照明◆山川英明
録音◆井上宗一
協力監督◆五十嵐匠
美術◆丸尾知行
編集◆岡安肇
主題歌◆F-BLOOD
「天国までの百マイル」（SMEJ Associated Records）
製作◆日活/チームオクヤマ
テレビ朝日/読売広告社
配給◆日活
協力◆朝日新聞社

©日活/チームオクヤマ/テレビ朝日/読売広告社

デザイン協力:田淵裕一　イラスト:井筒啓之

◆原作者・浅田次郎氏は語る
「映像化されれば、私の作品の中で一番の感動を呼ぶでしょう」

「泣くとわかっているのに、また読んでしまう」浅田文学映像化！

泣かせの名手 北上次郎（評論家）

浅田次郎の小説に派手な道具立ては滅多にない。国際謀略も出てこなければ、陰惨な殺人事件も起こらない。しかしこの作者が描くと、ドラマはいつも緊迫感が漲ってくる。それは登場人物の感情の振幅を鮮やかに描くからだ。派手な背景はなくても、その振幅のディテールをこれでもかこれでもかと描きだすことで緊迫感は生まれてくる。それが浅田次郎の小説作法である。

どんな人間にも感情の動きはあり、その中に真のドラマはある、とでも言うように、浅田次郎の小説では、あふれ出る感情とともに人間がいきいきと立ち上がるのだ。

『天国までの百マイル』もそういう一篇である。これほど浅田次郎の特徴を凝縮した作品もあるまい。これは、心臓を病んだ母を遠くの病院に運ぶ話である。なんと、それだけの話だ。いや、正確にいえば、もちろんそれだけではない。主人公は事業に失敗し、妻子とも別れて人生のどん底にある。兄弟たちは冷たくて、誰も母の看病を見ようとはしない。そういう人間関係の構図はある。さりげなく、兄弟たちの人間像が描かれるし、事業に失敗した途端に冷たくなった弁護士や、拾ってくれた同級生や、一緒に暮らしている気のいいホステスなど、さらに病院の医師たちまで、主人公のまわりにうごめく人間像が過不足なく活写される。

そういう描写はあるにせよ、しかし話の核心は母親を病院に運ぶ話なのだ。それだけなのだ。それなのに、いつもの浅田次郎作品と同じように、たっぷりと読まされるのは、兄弟や弁護士や同級生やホステスや医師たちの感情を、そして別れた妻や主人公の感情を、幾つも幾つも積み重ねることで、鮮やかな風景を作りだしているからである。

こういう「美談」に対して、現実はそんなに甘いものではあるまいという批判があることは承知している。しかし現実が厳しければ厳しいほど、小説にこれくらいのファンタジーは許されたい。生きていくのはそれだけで辛いのに、どうして小説を読んでまで辛い体験をしなければならないのだ、という意見にも一分の理はあると思う。

かくて私たちは、浅田次郎の小説を読んで、気持ちよく涙を流すのである。母親を乗せた汚れたワゴンを見て、大丈夫直りますよと医師が断言する場面で。あるいは金貸しが「ババァ、大丈夫か」と声をかける場面で。そして子供たちが新しい生活のかたちを提唱する場面で。何度も目頭を熱くさせながら、生きていくのもそんなに悪くはないぞ、とこの小説に叱咤激励されるのである。

珠玉の名台詞、豪華キャストの演技のアンサンブルの妙、これぞ日本映画と呼べる感動作！

昨年、単館作品として、ロングランを記録した浅野忠信主演『地雷を踏んだらサヨウナラ』を製作したチームオクヤマが贈る感動作品。バブル崩壊で会社も妻子も失った男は、重い心臓病を患う母を連れて、伝説の名医がいる千葉・鴨川を目指して百マイルの旅に出る…。市井の善人が幸福を探し求める心温まる物語。主人公の安男に時任三郎。自身の当たり役「ふぞろいの林檎たち」(TBS)のキャラクターのその後を思わせる。母・きぬ江には『ハチ公物語』の八千草薫、伝説の外科医に『カンゾー先生』の柄本明、『鉄道員(ぽっぽや)』の大竹しのぶが聖母のような女・マリを演じれば、『サラリーマン金太郎』の羽田美智子は安男の別れた妻で慎み深い女性を魅せる。また、藤本医師にはヒット作『ナヴィの恋』の若手実力派村上淳。監督は浅田作品を映像化したことがある早川喜貴。撮影にベテラン『EUREKA(ユリイカ)』の田村正毅、脚本は鈴木清順作品などで知られる田中陽造。音楽を、兄フミヤとのユニットF-BLOODで活躍している藤井尚之が担当、同名主題歌をF-BLOOD（作詞／藤井フミヤ 作曲／藤井尚之）が歌うのも話題。

◆心の琴線を揺さぶるF-BLOODの主題歌！

製作総指揮：中村 雅哉
プロデュース：奥山 和由
製作：早河 洋
桜井五十男
プロデューサー：佐々木亜希子
原作：浅田 次郎
「天国までの百マイル」（朝日新聞社刊）
脚本：田中 陽造
監督：早川 喜貴
協力監督：五十嵐 匠
音楽：藤井 尚之
サウンドトラック（SMEJ Associated Records）
撮影：田村 正毅
照明：山川 英明
録音：井上 宗一
美術：丸尾 知行
編集：岡安 肇
主題歌：F-BLOOD
「天国までの百マイル」
作詞 藤井フミヤ
作曲 藤井尚之
（SMEJ Associated Records）

時任 三郎

大竹 しのぶ

羽田 美智子
村上 淳
ブラザー・トム
ベンガル
小野寺 昭
筧 利夫

柄本 明

八千草 薫

日本映画／ヴィスタサイズ／ステレオ／上映時間 104分
製作：日活／チームオクヤマ／テレビ朝日／読売広告社
配給：日活
協力：朝日新聞社
宣伝：ドラゴン・フィルム

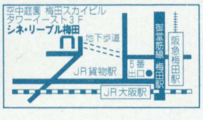
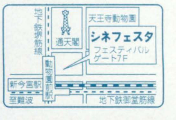
©2000日活／チームオクヤマ／テレビ朝日／読売広告社

12月23日(祝)より新春ロードショー!!

特別鑑賞券絶賛発売中！
一般 1,600円(税込)

［大阪・梅田に新しいロードショー劇場誕生!!］

梅田スカイビルタワーイースト3F
シネ・リーブル梅田 06(6440)5930
（＊シネ・リーブル電話番号 2000年12月18日より開通予定）



地下鉄動物園前駅⑤出口・フェスティバルゲート7F
動物園前 **シネフェスタ4** 06(6647)7188